



OTC薬を上手に使おう…上手のヒント⑦ 不適切な選択をしない(1) 胃腸薬

最近では、医療保険で手厚く守られている小児や高齢者は、軽度な不調でも病院に行くケースが多いようですが、国はOTC医薬品などを用いたセルフメディケーションを奨めています。しかし、OTC薬の売り場には多くの医薬品が並んでいますし、新しい薬もどんどん出回っています。症状にあった薬をどう選んだらよいのかと迷うかもしれません。今回からは、そんなときのヒントをお伝えしていきたいと思います。

お客様の薬選びをお手伝いするとき、薬剤師はこんなことを確認しています。

- ・使用する人は誰か？(本人？ 家族？ 年齢？ など)
- ・どんな症状か？(解決したいことは何か)
- ・医師の治療を受けているか？
- ・服用中の薬は？
- ・身体に合わない薬はないか？(アレルギー体質ではないか)

以上のことは、薬を求めるときにぜひ薬剤師に伝えて欲しいことです。これらの情報をもとに、薬剤師は原因や不調の程度を探り、OTC医薬品の適用範囲内かどうかの判断もします。薬剤師を大いに活用して上手に薬を選ぶには、情報提供が必要なのです。

食べ過ぎ、ストレスなどなどいろいろな原因で胃腸の調子を崩す人も多いですから、まずは「胃腸薬」について見ていきます。胃腸薬はその原因や症状によって用いる薬が違います。ここでは、実際にお店に行って胃腸薬を選ぶ場合を再現してみましょう。

<Aさんの例> 食べたあともたれるような感じでスッキリしないので、サクロンを食後に飲んでいました。飲んだときはスーッと良くなったように感じるが「もたれ感」は治らないといって来店されました。もともと胃は弱いそうですが、痛みはないとのこと。

薬剤師は話を聞きながら、服用中の薬と飲み方が適切ではないと判断しました。Aさんが改善したいことは「胃もたれ感を解消しスッキリしたい」です。

一般に、食後の胃もたれの原因は、食べたものの消化に時間がかかるためと考えられますから、薬としては「消化液の分泌を助ける、消化(分解)を助ける、胃の働きを抑制しない」ものとなりますが、サクロンは「消化液(胃酸)の分泌をおさえる、胃酸を中和(酸の働きをなくす)する、胃の働きを弱める、消化薬を含まない」成分で出来ていますので、働きは全く逆なのです。

たしかにサクロンには効能として「胃もたれ、胃部不快感、胃部膨満感、胃重、胸つかえ」が書かれていますから、Aさんがサクロンを選んでもおかしくはありません。しかし、サクロンは、同じ胃もたれ症状でも「暴飲暴食、ストレス、喫煙、薬剤」などによって胃壁が傷んだことによる症状を対象としています。服用時間は食間(空腹時)です。

Aさんには、消化を助け、胃の働きを妨げない「ビオフェルミン健胃消化薬錠」をおすすめしましたが、症状が2週間以上続く場合は、医師の診察を受けるようアドバイスしました。

